

＜過去2週間の動き＞

(8月20日～9月2日)

USD/RUB: 59.500～62.000

過去2週間のロシア・ルーブル相場は、対ドル、対ユーロで小幅下落。ただし、円、ポンドなど他の主要通貨に対しては、やはり小幅ながら、水準を切り上げた。特に31日以降、対円、対ポンドで明確に上昇した一方、ルーブルは対ドル、対ユーロでも堅調に振れており、この局面の値動きはルーブル高と見做すことができた。ルーブル固有の要因では、引き続き、「非友好的でない国」の通貨に係るものが目を引いた。24日には、早ければ9月中にも、人民元建ロシア国債が発行される可能性が観測されたし、1日には、政府筋からの情報として、「友好的」な国の通貨(人民元、インド・ルピー、トルコ・リラなど)700億ドル相当の年内購入を検討していると報じられた。ただし、いずれも目先のルーブル相場に与える影響は不透明で、実際、1日の報を受けてリラが一瞬上振れた程度で、ルーブルの反応は全く読み取れなかった。並行して、ロシア現地株価指数(MOEXロシア指数)の一方的な反発も目を引いたが、この株価堅調が、或いは、31日以降のルーブル堅調に寄与した可能性は考えられなくもなかっただろう。通貨市場全般では、26日、欧州中銀、米連銀の金融政策に関し、相次いで「大幅利上げ」が示唆されたことが、同日から30日にかけてのユーロ堅調、ドル堅調に、それぞれ寄与したものと考えられた。欧州中銀は、「9月(8日)の理事会で+75b.p.利上げの可能性が検討される」と観測され、米連銀は、「歴史は早急過ぎる緩和のリスクを警告している」といったパウエル議長の発言が、目先の積極的な追加利上げや、利下げ開始の先送りを予見させた。

＜過去2週間に発表された主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
8/24	16:00	鉱工業生産(前年比)	7月	-0.5%	-2.3%	-2.4%
8/31	16:00	小売売上高(前年比)	7月	-8.8%	-9.0%	-9.6%
	16:00	失業率	7月	3.9%	4.1%	3.9%
	16:00	実質賃金(前年比)	6月	-3.2%	-5.9%	-6.1%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

＜向こう1週間の見通し＞

(9月3日～9月9日)

USD/RUB: 59.50～61.50

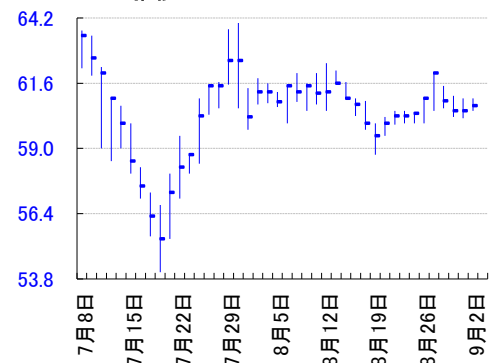
向こう1週間のロシア・ルーブル相場は、引き続き、巨額のロシア経常黒字を背景としたルーブル上昇圧力とルーブル堅調を中心に予想。ただ、中長期的にこの構図が崩れる可能性も視野に、ルーブル堅調が一方向的に進む可能性は従来よりも低下したと考える。人民元などを巡る一連の動きがルーブルに及ぼし得る影響は、上述の通り明確ではない。人民元建ロシア国債発行は、燃料輸出などの対価として、ロシア国内に積み上がった人民元(ロシアの対中貿易収支が黒字にとどまる限り)を、市場から(低めのコストで)吸収することを目論んだものではなく、従来であれば通貨市場に供給された元売り/ルーブル買い圧力を低減する方向に働くはず。人民元を中心とした政府による外貨購入は、当然、ルーブル売りということになるものの、ルーブルを購入した「友好国」の取引主体が、そのルーブルを(例えば対ドルで)手放すか否かは別の問題。元高/ルーブル安がどれだけ進行しても、ドル/元とドル/ルーブルの値動きの間に裁定が働くほど、それぞれの市場が成熟しない限り(取引規制の撤廃、流動性向上など)、単に元/ルーブルが上昇するだけで終わってしまうのではなかろうか(この点は、人民元建ロシア国債発行のルーブル為替への影響を占う上でも同じ目線が必要になるものと考えられる)。9日のロシア8月CPI発表は、ロシア中銀による追加利下げのペースを占う上で興味深いものの、ロシア金融政策動向も、原油価格動向も、ルーブルの方向感に与える影響はほとんど読み取れない現状で、ルーブルが材料視する可能性は見込み難い。

＜向こう1週間に発表予定の主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
9/5-9/9		国民福祉基金(USD)	8月			198.3bn
9/7	13:00	外貨準備高(USD)	8月			576.9bn
9/9	16:00	GDP(前年比)	Q2 P		-4.0%	+3.5%
	16:00	CPI(前年比)	8月		+14.25%	+15.10%
9/9-9/13		財政収支(RUB/年初来)	8月			+481.9bn

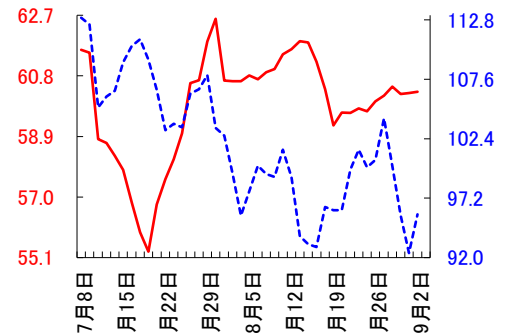
(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

USD/RUBの推移 (日足/ロンドン7:00～17:00)

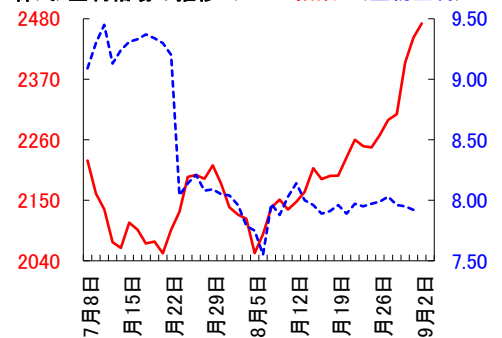


株・ルーブル/バスケット推移 (ロシア中銀公示)

原油価格推移 (ブレント直物)



株式/金利相場の推移 (MOEX指数/当翌物金利)



(資料: ロシア中銀/ロイター/ブルームバーグ)

ロシア関係主要経済指標

1週間物入札金利		8.00%
成長率(GDP/前年比)	Q2	-4.0%
失業率	7月	3.9%
消費者物価(前年比)	7月	+15.10%
小売売上高(前年比)	7月	-8.8%
鉱工業生産(前年比)	7月	-0.5%
貿易収支(USD)	1月	+21.2bn
経常収支(USD)	Q2	+70100mln

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。